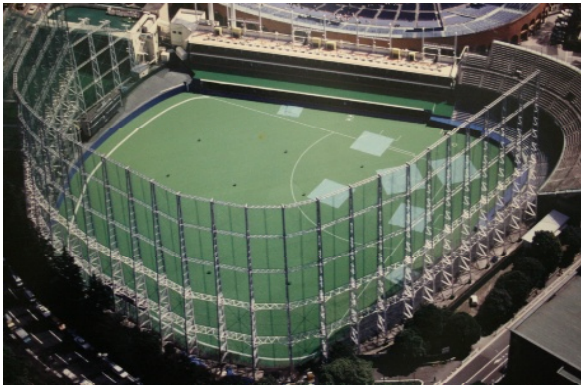


# 神宮ゴルフ練習場の歴史

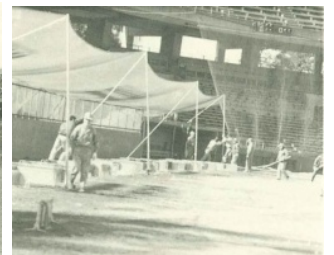


これは、神宮ゴルフ練習場を上空から見たところです。えっ？野球場じゃないかって？神宮ゴルフ練習場は、神宮第二球場のグラウンドを利用した野球場とゴルフ場二つの顔を持つ練習場なのです。

神宮第二球場は、昭和36年3ヶ月の突貫工事で竣工。こけら落としは、来日中のハワイ朝日チームと東芝との対戦でした。

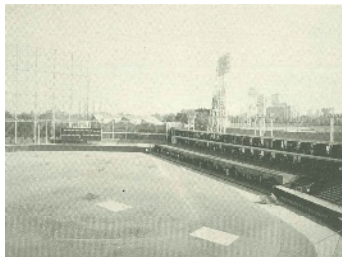


神宮ゴルフ練習場は、昭和47年神宮球場北側に作られたわずか24打席・30ydの小規模な練習場から始まりました。翌48年には、東京都高校野球や東都大学などの試合が行われていた神宮第二球場に第二ゴルフ練習場を開設。グラウンドを利用したその規模は、72打席142ydと大規模なものだったが、連夜満席のため、グラウンド内にも38の仮設打席を新設した。



第二練習場(現・西練習場)

グラウンド打席作り作業



グラウンド打席の完成



近代的なクラブハウス

昭和56年、これまで野球の試合日には撤去し、試合終了後に再び設営していたグラウンド打席の常設化工事を行い野球試合の時はフェンスが自動的に立ち上がる大がかりな可動式電動フェンスを導入しました。これにより、野球からゴルフへの切り替えがスムーズになりグラウンドコンディションも良好に保たれるようになりました。

平成5年には、下記の改良工事が行われました。

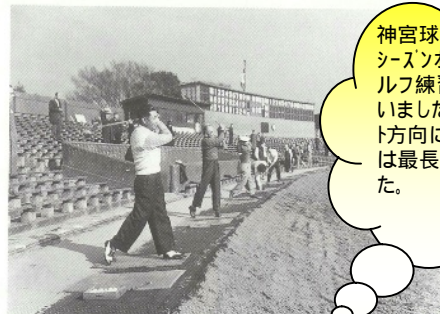
- \* プリペイドカードによるオートティアップ・システムの導入により待ち時間の短縮とスムーズなプレイが可能になりました
- \* 長尺クラブに対応するため打席幅を2.4mから2.6mに広げ通路側に間仕切りスクリーンを設け個人専有の余裕ある打席に改造
- \* 打球の飛び出し防止のため、防球ネットを40mから48mにかさ上げ
- \* 第二球場の人工芝敷設



これらの工事により、東練習場42打席、西練習場121打席計163打席をする先進的なゴルフ練習場に生まれ代わりました。



これは、昭和48年当時のボール回収の様子です。ボール数は7万から8万個。毎朝、職員の手によって行われました。30年以上経った現在も、その様子は変わりません。



神宮球場も昭和56年まで、シーズンオフの有閑期間をゴルフ練習場として活用していました。外野からバックネット方向に打ち込む形で距離は最長で300ydありました。